



好 1月
 き 2月
 で 3月
 す 4月
 ふ 5月
 る 6月
 さ 7月
 と 8月
 新 9月
 ひ 10月
 だ 11月
 ひ 12月
 だ 11月
 か 12月

好天の下、迎えた晴れの門出。

平成26年（第8回）新ひだか町成人式では、264人の新成人が晴れの門出を迎え、新たな決意を胸に輝く未来に向かっての第一歩を踏み出しました。

きらきら輝く、キャンドルの明かり。

第23回ウインターデ・ライトでは、約3千個のアイスクャンドルの柔らかい明かりが町を彩り、幻想的な夜を演出しました。

出会えてよかった、この逸品。

町内で生産される優れた産品を統一ブランドとして全国に発信するため「新ひだか推奨品認証制度」が創設され、35商品が新ひだか推奨品に認定されました。

優れた産産を、全国の食卓に。

農業の担い手の育成を図るための研修施設「静内ハウス団地」が供用開始し、町内でミニトマト農家として新規就農を目指す3名の研修がスタートしました。

婦人科が待望の開設。

町立静内病院に婦人科が新設され、林卓宏医師が着任しました。婦人科外来は、毎週火・水・木曜日の午前・午後に診察をしています。

ルートを外さず、ボール運びは慎重に。

第9回新ひだか町エプロンピックが開かれ、約110人が参加し、スポーツレクリエーションを楽しみながら友情の輪を広げました。

最高潮の盛り上がり。

第9回新ひだか夏まつりの阿波踊りパレードでは「ヤットサー、ヤットサー」の掛け声とともに、会場は熱気に包まれました。

時を越え、心通う。

友好市町の福井県大野市から中学生訪問団38名が来町し、先祖が多く入植した三石歌笛地区で交流会が開かれ「越前踊り」と「大野おどり」を互いに披露しました。

新設、水難救助隊。

日高中部消防組合消防署は、流れの速い河川などの事故に対応する水難救助隊を新設し、水難救助訓練を実施しました。

一つのたすきに、思いを込めて。

第39回シベチャリ駅伝大会では、小学生から70代まで43チーム215人が出場し、沿道の声援を受けながら周回コースを駆け抜け、たすきをつなぎました。

代々受け継がれた伝統、胸に刻み。

平成27年3月末で閉校する静内第二中学校の閉校式が開かれ、在校生や卒業生など約170人が出席し、地域とともに歩んだ44年間の歴史を振り返りました。

奏でるメロディー、心躍る。

ミュージックフェスティバル2014では、陸上自衛隊第7音楽隊や静内高校吹奏楽部などが出演し、迫力ある演奏に会場から大きな拍手が送られました。

さて、2015年はどんな年になるでしょうか。広報新ひだかは、今年も町民のみなさんの笑顔や頑張っている姿を伝えていきたいと思います。町民のみなさんメエメエにとって、良い年でありますように。

ソチオリンピック、笑っていいとも終了、消費税増税、解散総選挙。2014年もさまざまなことがありましたね。皆さんはどのような一年でしたか？新ひだか町でも、さまざまな出来事がありました。今月号では、あいうえお作文「好きです ふるさと 新ひだか」を

2014 振り返る